第15回沼津市議会定例会

一 般 質 問

＊　一般質問は、「一括質問一括答弁方式」、「一問一答方式（一問一答及び複合）」により実施します。

・「一括質問一括答弁方式」：通告した全ての質問を１回目に行い、答弁に対する再質問として２回目及び３回目の質問を行う。

・「一問一答」：通告に沿って１回目から、全て一問一答により質問を行う。

・「複合」：１回目は一括質問一括答弁方式で行い、２回目以降から一問一答に切り替えて行う。

令和８年１１月３０日、１２月１日

令和８年１１月３０日（月）午前１０時から			
順番	氏　名	要　旨	答弁を求める者
1	26番 髙　橋　達　也 ＊一括方式	1　言語科の総括と新たな探究学習「志ラボ」の展開について ⑴　平成18年度から取り組んできた本市独自の言語科の総括について ①　言語科の創設経緯と今回の見直し ②　言語科「読解の時間」の成果と課題 ③　言語科「英語の時間」の成果と今後の継承 ⑵　言語科の見直しに伴う教育内容の継承と発展について ①　言語科「読解の時間」の各教科への移行 ②　新たな探究学習「志ラボ」との関係 ⑶　新たな探究学習「志ラボ」の導入と今後の展開について ①　志ラボの目的と従来の総合的な学習との違い ②　実施に向けた準備と学校現場の体制 ③　地域との連携と学びの広がり ④　学習成果の評価と今後の展望	市長 教育長 関係部長

順番	氏　名	要　　旨	答弁を求める者
2	13番 久保田　吉光 ＊一括方式	1　本市における再犯防止推進計画について ⑴　第一次再犯防止推進計画と第二次再犯防止推進計画の違いと行政が取り組む内容 ⑵　本市の再犯防止推進計画の策定状況とこれまでの取組実績 2　本市における特殊詐欺の現状と対策 ⑴　特殊詐欺の現状 ⑵　市民が加害者及び被害者にならないための意識向上の取組 ⑶　学校における加害者及び被害者にならないための教育	市長 教育長 関係部長
3	16番 小　澤　隆 ＊一括方式	1　職員の人材育成及び組織マネジメントについて ⑴　本市が求める職員像と、その実現に向けた採用・人材育成の方針 ⑵　管理職に求められる資質及び職場の良好な人間関係を阻害する言動への対応 ⑶　職員間の対人関係上の摩擦を適切に処理するための能力開発及び組織的な取組 2　津波避難訓練の実効性向上について ⑴　津波避難上の課題が大きい地区に対する伴走型訓練の実施 ⑵　避難場所への到着時間や避難完了率等の共通指標による訓練結果の検証 ⑶　様々な状況を想定した実践的な訓練の実施 3　沼津駅周辺総合整備事業における沼津駅舎・駅前広場等のデザインについて ⑴　国内外への発信力を持つ、沼津の象徴となるデザインの実現に向けた考え方	市長 関係部長
4	14番 佐野博一 ＊一括方式	1　ぬまづの宝100選のさらなる活用について ⑴　これまでの周知・発信の取組とその効果について ①　市民への取組と効果 ②　市外の方への取組と効果 ⑵　今後のさらなる活用に向けた若い世代への取組 2　一人暮らしの高齢者の見守り体制とデジタル技術の活用について ⑴　現在の見守り体制と課題 ⑵　デジタル技術を活用した見守りの有効性 ⑶　デジタル技術を活用した見守りの推進	市長 関係部長

令和８年１１月３０日（月）午後から			
順番	氏　名	要　　旨	答弁を求める者
５	９番 小　泉　宣　子 ＊一括方式	１　低出生体重児（リトルベビー）等への支援 ⑴　未熟児養育医療に対する助成の現状 ①　低出生体重児の出生状況と保護者が負担する費用への認識 ②　保護者が抱える経済的・身体的・精神的負担に対する認識 ③　搾乳機・母乳保存パック費用の助成導入に対する見解 ⑵　母乳バンク及びドナーミルクの普及・啓発について ①　母乳バンクとドナーミルクの役割と必要性に対する認識 ②　妊産婦や市民への周知と普及に向けた今後の取組 ２　市内における搾乳環境の充実について ⑴　赤ちゃんの駅の設置状況と搾乳を想定した利用環境の状況 ⑵　授乳室が搾乳にも利用できることを表示する考え ⑶　周知の取組 ３　誰もが安心して救命処置を受けられるためのＡＥＤの使用について ⑴　救命講習の実施状況 ⑵　ＡＥＤを使用する際の女性への配慮に対する認識 ⑶　ＡＥＤ内に三角巾と使用方法の説明書を配備する考え ４　医療的ケア児支援法の改正を踏まえた切れ目のない地域支援体制の構築について ⑴　実態把握に向けた取組 ⑵　「18歳の壁」を打開する成人期以降の支援推進に当たっての課題 ⑶　今後の取組	市　　長 関係部長

順番	氏　名	要　　旨	答弁を求める者
6	20番 長　田　吉　信 ＊複合方式	1　公共施設における樹木の適正な維持管理について ⑴　公園・道路及び学校施設の樹木の剪定・維持管理の現状と課題について ①　市が管理する樹木の管理体制 ア　公園・道路の樹木の現状把握と維持管理体制 イ　学校施設の樹木の現状把握と維持管理体制 ウ　樹木の管理に対する考え方 ②　剪定の実施状況と市民要望への対応 ア　公園・道路の樹木剪定の実施時期や頻度、判断基準 イ　学校施設の樹木剪定の実施時期や頻度、判断基準 ウ　市民要望への対応 ③　樹木の安全管理と老木等への対応 ア　公園・道路の樹木の点検基準や方法、点検結果への対応 イ　学校施設の樹木の点検基準や方法、点検結果への対応 ウ　老木・大木への対応 ⑵　計画的な樹木管理の推進と必要な予算の確保について ①　市全体の樹木管理計画の策定 ②　予算の計画的な確保 ③　今後の公共施設の樹木管理への考え方 2　妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援体制の充実について ⑴　母子健康手帳のデジタル化に対する認識と今後の方針について ①　現在の母子健康手帳の認識 ②　母子健康手帳の交付状況と面談、妊婦への支援体制 ③　国が進める母子健康手帳のデジタル化への認識と情報収集、検討 ④　導入に向けた課題及び医療機関との調整と導入準備の認識 ⑵　母健連絡カードの周知と活用促進について ①　母健連絡カードの周知と活用 ②　全ての妊婦への制度紹介の必要性 ③　市内事業所に対する周知と啓発への考え ④　市職員に対する周知と活用の現状と認識	市　　長 教　育　長 関係部長

順番	氏　名	要　　旨	答弁を求める者
		⑶　妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援について ①　支援が必要な時期に受けられる切れ目のない支援体制の充実 3　防災情報の伝達体制の充実について ⑴　これまでの防災情報の伝達体制の取組について ①　個人による情報収集に対する認識 ②　情報発信手段の取組状況 ⑵　同報無線自動応答システムの運用状況と改善について ①　運用状況の認識 ②　回線混雑時の状況把握の認識 ③　改善に向けた取組 ⑶　自動架電システムの登録状況と情報伝達の迅速化について ①　登録状況の認識と周知方法 ②　架電に要する時間と応答状況 ③　架電時間の短縮に向けた取組 ⑷　誰一人取り残さない防災情報伝達体制の構築について ①　市民への周知方法 ②　デジタル機器を利用しない市民への情報伝達体制確保策 ③　同報無線自動応答システム、自動架電システム、戸別受信機等の課題検証と実効性のある運用改善への認識 ④　今後の防災情報伝達体制の充実への認識	

順番	氏　名	要　　旨	答弁を求める者
7	19番 片　岡　章　一 ＊一括方式	1　旧市民体育館跡地の活用を見据えた市庁舎建て替えの検討について ⑴　沼津駅北口エリアにおける公共空間活用の可能性を検討する目的及び内容 ⑵　静岡県東部総合庁舎との共同整備の可能性 2　スポーツを通じた交流人口の拡大と地域活性化について ⑴　地域資源を活用したフルマラソン大会の開催について ①　市の認識 ②　開催の可能性 3　小中学生の安全・安心な通学環境の確保について ⑴　小中学生の通学環境について ①　児童と生徒の身体的負担や、猛暑時における安全対策 ⑵　通学支援制度の充実について ①　遠距離通学援助制度の利用状況と充実に対する認識	市　　長 教　育　長 関係部長

順番	氏　名	要　　旨	答弁を求める者
8	8番 村　木　　豊 ＊一括方式	1　ネイバーフッドトランスフォーメーション（ＮＸ）の推進について ⑴　社会的孤立の防止 ①　社会的孤立が地域社会及び行政に及ぼす影響に対する認識 ②　社会的孤立の予防及び地域とのつながりを確保する取組の現状と効果 ③　デジタル技術等を活用した地域情報・支援情報の提供の仕組み ⑵　自治会を基盤とした地域コミュニティの再構築とデジタルの活用 ①　自治会加入率の低下が地域コミュニティ及び住民同士のつながりに及ぼす影響 ②　自治会を基盤とした地域のつながりを維持・再構築するための取組 ③　地域コミュニティにおける情報伝達の現状に対する認識 ④　デジタル回覧板の導入に向けた本市の基本的な考え方及び支援の在り方 ⑶　新たな技術等を活用した地域公共交通の再構築 ①　自動運転実証運行の成果と課題及び令和９年度以降の社会実装に向けた考え方 ②　社会実装後の運行経費及び市の財政負担 ③　自動運転等の新たな技術を公共交通空白地域や郊外地域の生活交通へ展開する考え ④　静岡県が進める公共ライドシェア等共同運行管理に参加する本市の考え ⑷　デジタルを活用したまちづくりの評価及び基本的な考え方 ①　本市のＤＸ・スマートシティ施策による市民生活及び地域社会の変化に対する評価 ②　地域幸福度（Ｗｅｌｌ－Ｂｅｉｎｇ）指標等を活用したデジタル施策の評価 ③　デジタルを活用したまちづくりの基本理念とルールの明確化	市　　長 関係部長

順番	氏　名	要　　旨	答弁を求める者
9	7番 浅田　美重子 ＊一括方式	1　災害時の避難所環境の改善に向けた取組 ⑴　小中学校体育館以外の避難所環境について ①　空調設備の整備に対する認識 2　障がい者雇用について ⑴　沼津市役所における障がい者雇用の取組の現状 ⑵　本市における障がいのある人への就労支援の取組の現状 ⑶　総社市の障がい者雇用の取組に対する市の認識 ⑷　障がいのある人の就労促進に向けた今後の取組 3　女性の小規模起業を後押しする市の取組について ⑴　女性の起業を支援する取組 ⑵　小規模な起業への少額の創業支援補助金 ⑶　お試し出店の場づくりと、子育て・介護との両立支援 ⑷　男女共同参画基本計画における女性の起業支援の施策の拡充と支援の継続	市長 関係部長

令和８年１２月１日（火）午前１０時から			
順番	氏　名	要　　旨	答弁を求める者
１０	６番 大　草　　満 ＊一括方式	１　本市小中学校における人権教育の取組と推進について ⑴　人権教育を授業につなげる推進体制 ①　本市の各学校における人権教育全体計画の作成状況 ②　本市教職員の過去３年間における人権教育研修の実施状況 ③　人権教育研修後の校内へのフィードバックの実施状況 ④　人権教育研修の内容を授業に落とし込むための支援策 ⑵　生命（いのち）の安全教育と性に関する指導の推進 ①　令和５年改訂のこころとからだの教育ガイダンスの活用状況 ②　性の多様性等、性の悩みに関する各学校への相談件数 ③　外部講師の活用状況と今後の連携策 ⑶　子どものウェルビーイングを指標とした検証 ①　全国学力・学習状況調査の質問項目における全国調査結果と本市の調査結果との比較 ②　不登校、いじめ対策における人権教育の活用状況とその取組の成果	市長 教育長 関係部長

順番	氏　名	要　　旨	答弁を求める者
１１	21番 深　田　　昇 ＊一括方式	1　公共工事の施工時期の平準化について ⑴　認識 ⑵　現状把握 ①　平準化率の評価 ②　平準化の推進に向けた「さしすせそ」の取組状況 ア　「さ」債務負担行為の活用 イ　「し」柔軟な工期の設定 ウ　「す」速やかな繰越手続 エ　「せ」積算の前倒し オ　「そ」早期執行のための目標設定 カ　工事担当部署ごとの状況 ⑶　今後の取組 ①　平準化の推進 ②　事業者との連携 2　ごみステーションの管理と地域負担の軽減について ⑴　管理の現状と課題 ①　地域負担に対する認識 ②　管理と利用の実態 ③　自治会未加入者との関係 ⑵　不適切排出対策の取組状況と成果 ⑶　外国人住民への周知 ①　国籍構成の変化 ②　在留資格別・地域別の状況 ③　周知手段と実施状況 ア　外国人用「ごみの出しかたブック」 イ　ホームページ及び翻訳機能による対応 ウ　沼津市生活ガイドブック エ　ごみ分別アプリ「さんあ～る」 オ　動画 ⑷　今後の取組 ①　ごみステーション管理の在り方 ②　外国人住民への周知強化	市　　長 関係部長

順番	氏　名	要　　旨	答弁を求める者
１２	23番 渡部　一二実 ＊一括方式	1　グリーンインフラの一様式である「雨庭整備」の必要性について ⑴　グリーンインフラ拡大を明記した諸計画の取組状況について ①　第２次沼津市緑の基本計画及び沼津市地域防災計画に沿ったグリーンインフラの拡大状況 ②　第２次沼津市環境基本計画（中間見直し）に沿ったグリーンインフラの拡大状況と官民連携の推進状況 ⑵　国土交通省が公表した、雨水が市街地にあふれる「内水氾濫」の被害軽減に向けた対応方針に対する本市の受け止めについて ①　本市の中心市街地における排水機能の限界値に対する認識 ②　本市の内水氾濫の被害状況と対応策に対する認識 ⑶　防災・減災機能を併せ持つ「雨庭整備」の実現性について ①　都市景観の向上と保水・貯水機能を有する雨庭に対する認識 ②　本市の中心市街地の構造と雨庭との親和性に対する認識 ③　本市には未整備である雨庭の必要性に対する認識 2　本市における不登校・ひきこもりへの対応策について ⑴　過去に議論された教育委員会に関連する不登校・ひきこもり対応策の効果について ①　沼津市青少年教育センターの相談指導学級 ②　校内に設置されたフリースペース ③　学校以外で学習機会を得る民間フリースクール ④　スクールカウンセラー ⑤　スクールソーシャルワーカー ⑵　過去に議論された福祉部局に関連するひきこもり対応策の効果について ①　沼津市自立相談支援センターの相談窓口 ②　沼津市生活困窮者自立支援ネットワーク会議 ③　重層的支援体制の構築とアウトリーチ型支援	市長 教育長 関係部長

順番	氏　名	要　　旨	答弁を求める者
		⑶　コミュニケーション構造分析（ＡＣＳ）の導入について ①　ＡＣＳ（Ａｎａｌｙｓｉｓ　ｏｆ　Ｃｏｍｍｕｎｉｃａｔｉｏｎ　Ｓｔｒｕｃｔｕｒｅ）に対する認識 ②　全小中学校へのＡＣＳの導入とカウンセラーとの連携強化	
１３	１番 川　口　　慶 ＊一括方式	１　三浦地区・戸田地区における津波避難路の指定と整備について ⑴　津波避難路の指定と整備の状況 ①　指定数と整備数の状況 ②　津波避難路におけるブロック塀等の撤去・改善状況 ③　津波避難路の整備についての方針や考え ⑵　不具合が生じている津波避難路への対応 ⑶　自治会・自主防災会との連携 ⑷　津波避難に対する周知・啓発や支援の認識 ２　沼津市立図書館における読書活動推進の取組について ⑴　読書活動推進の取組 ⑵　読書活動推進の取組の効果と認識 ⑶　今後の取組や考え	市　　長 教　育　長 関係部長

令和８年１２月１日（火）午後から			
順番	氏　名	要　旨	答弁を求める者
１４	２番 髙　橋　秀　子 ＊一括方式	１　新中間処理施設整備事業について ⑴　市民への分かりやすい情報提供 ⑵　土砂災害特別警戒区域の指定解除の進捗状況 ⑶　新施設稼働後の環境監視と情報公開 ⑷　地域住民との継続的な対話の仕組み ２　特別支援教育における通級による指導の機会の確保について ⑴　他校通級と保護者の就労の両立について ①　就労のため保護者による送迎が困難な状況にあることの認識 ②　送迎が困難な家庭の実態把握 ⑵　サテライト校における巡回指導の実績と今後の方針 ①　巡回指導実施による指導の状況の変化 ②　送迎の実態を踏まえた巡回先の選定基準と今後の拡充方針 ⑶　他校通級に係る移動支援と相談体制	市　長 教　育　長 関係部長
１５	11番 平　野　謙 ＊一問一答	１　福祉サービスの担い手の確保について ⑴　保育士確保の取組 ①　処遇改善の取組状況 ②　取組の効果 ⑵　障がい福祉サービス等の現状と課題 ①　障がい福祉サービス等の利用状況 ②　将来推計 ③　利用ニーズの充足状況 ④　今後の課題に対する認識 ⑶　介護サービスの現状と課題 ①　介護サービスの利用状況 ②　将来推計 ③　利用ニーズの充足状況 ④　今後の課題に対する認識 ⑷　福祉人材確保の取組 ①　人材不足の影響に対する認識 ②　人材確保のための取組	市　長 関係部長

順番	氏　名	要　　旨	答弁を求める者
１６	17番 加　藤　元　章 ＊一問一答	1　本市の地震・津波対策について ⑴　第５次地震被害想定を見据えた国、県との連携体制 ⑵　津波避難ビルについての拡充策及び発災時の開錠策 ①　津波避難ビルの拡充策の今後の取組 ②　津波浸水深に耐えられる住宅構造の開示 ③　津波避難ビルの開錠策の現状 ④　地震連動型の「かぎ保管庫」の屋外設置 ⑶　耐震性貯水槽の現況と飲用水としての安全性 ①　耐震性貯水槽の構造 ②　地震での破損・損傷の可能性 ③　ろ水機でのウイルス、有害化学物質、重金属のろ過性能 ④　塩素消毒による有害な副生成物の発生 ⑤　飲用水として使用する際の最終的な水質確認と安全性の責任 ⑥　安全性が確実なペットボトル入り飲用水の備蓄 ⑷　指定避難所の収容スペース確保策 ①　想定最大避難者数が想定収容人数を上回っている避難所の対応策 ⑸　指定避難所の開設支援策 ①　避難所開設キットの設置 ⑹　市内の備蓄倉庫から各指定避難所への配給計画・配給ルート ⑺　発災後の支援物資の保管とそのマネジメント ⑻　発災後の早期情報収集のための災害用自動航行ドローンシステム導入 ⑼　中部処理区域内の下水道の陶器製管路の事前防災策 ①　対象となる世帯への周知 ②　塩化ビニル製排水管への更新を促す補助制度創設 ⑽　震災復興に重要な地籍調査の推進	市　　長 関係部長

順番	氏　名	要　　旨	答弁を求める者
１７	18番 山下　富美子 ＊一問一答	1　香貫山の保全と利活用について ⑴　香貫山保全利活用指針と各部署の取組について ①　各部署の取組と指針との整合 ⑵　指針の進捗管理と市民との協働について ①　14年間の取組の検証と公表 ②　市民等との定期的な意見交換の機会 ③　香貫山全体の保全と利活用計画 ア　計画を担う所管 イ　駐車場・駐輪場の設置及び歩行者の安全確保等の検討状況 ④　市民・ボランティア団体との協議 ⑶　登山口へ続く道路の安全確保について ①　空き家からの落下物・倒木等の把握状況 ②　道路上の落下物への対応 ア　落下物対応と所有者等への管理依頼 イ　香貫山観光地エリア景観計画を踏まえた各部署の連携と対応 ⑷　香貫山観光地エリア景観計画の推進と庁内の一体的な体制について ①　景観計画の各施策の実施状況の取りまとめと評価の方法 ②　庁内部署の一体的な体制づくりに向けた取組 ア　一体的な体制の進捗状況 イ　部署間の協議の状況 ウ　定期的な庁内協議の必要性に対する認識 ⑸　香貫山全体の計画と推進体制 2　防災拠点である市庁舎の非常用電源の確保と浸水対策について ⑴　非常用電源の運転時間について ①　国の調査への回答を72時間以上に変更した根拠 ②　国の調査の趣旨との整合 ⑵　市庁舎の浸水対策について ①　国に水害対策済と回答した根拠 ②　国のガイドラインに基づく浸水経路の把握と水防ラインの設定の必要性 ⑶　地下の電気設備・燃料・飲料水等の浸水対策について ①　地下設備の浸水リスクに対する検討と対策の経緯 ②　非常用発電機の更新及び期限を定めた計画の策定	市　　長 関係部長